

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	平成30年度第1回武蔵村山市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成30年10月29日(月) 午前10時40分から午後12時20分まで
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：佐々委員(会長)、布田委員(副会長)、志茂委員、乙幡委員、大友委員、前川委員、齋藤委員 欠席者：菅田委員、比留間委員、田島委員、大熊委員、谷治委員 事務局：子ども育成課長、児童担当課長、子ども育成課保育係係長、子ども育成課保育係主事
議 題	(1) 「武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査の実施概要及び調査票(案)について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について 今回の会議内容の質疑・提案等に沿って調査票を修正し、調査を行う。 議題2について 原案のとおり承認された。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 開会 ○会長挨拶 (会長) 会議次第に沿い委員からの意見を聞き進めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。 2 議題 (1) 「武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査の実施概要及び調査票(案)について ○ 事務局より、無記名ニーズ調査を実施することを説明。 ○ 会長より、今回の会議の各委員からの質疑・提案等を調査票に反映させ決定することを説明。 【質疑応答】 (会長) 国からの策定指示が来ず、ニーズ調査等がこの時期になってしまった。需要と供給が市として合っているか。ニーズ調査・集計でしっかり踏まえる時間をこの会議を利用したい。本日はそのアンケート項目を1つ1つ精査していきたい。 まず、アンケート発送数は1000件毎とあるが、前回と同数か。 (事務局) 合計数は同じである。前は未就学者が1200件、小学生は800件である。 (会長) なぜ、未就学者が減少したのか。及び小学生が増加した理由は。 (事務局) 未就学児童の人数が減少したためである。小学生の増加は対象学年の幅を広げたためである。 (会長) 回収率はどれくらいを目指しているか。

	<p>(事務局) 回収率は40%以上を目指している。</p> <p>(会長) 前回の回収率は。</p> <p>(事務局) 40%を超えていた。今回は趣旨も踏まえていただいた上で回答していただけるよう説明文も入れ送付し、回収率を上げる手段も考え送付するよう考えている。</p> <p>(会長) 40%程で市民の意見を集約できるのであれば、なるべく集まることのできるよう努力してもらいたい。</p> <p>では、資料6から確認していく。国モデルとは市民にとって分かりにくいのではないか。</p> <p>(事務局) 実際の送付の際には、国モデル等色付けをとる。</p> <p>(会長) 資料を見ていく中で、委員から意見等があれば適宜発言していただきたい。</p> <p>(委員) 問10の、9学童クラブの先生は例えば上の子が小学生の場合であれば意味は保護者に伝わるが、それ以外の人にとっては分からない場合もでてくるのではないか。</p> <p>(事務局) もし、学童クラブの意味がわからなければ丸を付けることはないと考えられるためそのままとする。</p> <p>(会長) 問14-1に掲げている事業は武蔵村山市に全てあるのか。</p> <p>(事務局) 6の家庭的保育は現在休止している。条例上では現在もあるため、そのまま記載している。</p> <p>(会長) 14-3の2他の市区町村は具体的に市区町村名を記載する必要はないか。</p> <p>(事務局) 記載はお願いしない。</p> <p>(会長) 問15で6家庭的保育に丸がついた場合は今後、希望者がいるという方向で考えていくことか。</p> <p>(事務局) そのとおりである。</p> <p>(会長) 問17の無償化の説明は不要でいいのか。</p> <p>(事務局) 国の政策対象の年齢外に対しての設問にもなるため、説明文をいれていない。</p> <p>(委員) 設問の内容が難しく感じる保護者もいるのではないか。</p> <p>(会長) では、サービスにかかる負担が、無償化や補助金などによって減るという内容から負担が減るに抽象的に変える事で分かりやすくなるのではないか。</p> <p>(事務局) 変更させていただく。</p> <p>(会長) 問18の、15自宅との距離・移動時間はどういう意味か。</p> <p>(事務局) 認可保育所の入所の際に重要視する保護者が多くいるため記載した。</p> <p>(会長) 7園長・保育士・教員等の対応や施設の印象とはどのように理解したらよいか。</p> <p>(事務局) 認可保育所の入所の申込みの際にはこちらから事前に関に見学するよう進めているため記載した。</p> <p>(会長) 問22で丸は1つか、あてはまるもの全てに丸が記載されていない。</p> <p>(事務局) 1つ丸を追加させてもらう。</p> <p>(委員) 問28では5歳児の人数がどのくらいかによって変わってくることでいいのか。</p> <p>(会長) 5歳児の分布図を知りたいための設問である。</p> <p>(委員) 問31では今までは丸を付けるという設問だったが、この設問は番号を記入するという異なった設問の仕方で大丈夫か。</p> <p>(事務局) 父・母それぞれに記入してもらった必要があるためにこの設問は番号を記入してもらったこととした。</p> <p>(会長) 問31-3の年度始めとは4月ということでもいいか。</p> <p>(事務局) そのとおりである。4月と補記させていただく。</p>
--	---

	<p>(委員) 資料の中で黒矢印が理解する事が難しい箇所がある。 (事務局) 矢印をとり、ページ番号等に変更し分かりやすく変更する。 (会長) 最後に、資料6の1ページ目の送付宛名が武蔵村山市であり市長名を入れなくていいのか。 (事務局) 前回の調査では武蔵村山市長で送付したが、今回は原案のとおり送付させていただく。 (会長) なぜ、市長をとったのか。 (事務局) すでに実施している貧困家庭とひとり親家庭での調査では武蔵村山市で送付済みのため、統一した。 (会長) 資料7では、資料6と異なる設問のみ確認していく。 送付後に保護者から調査に関して問い合わせがきたら丁寧に事務局には対応してもらいたい。 (委員) 資料7の問26の設問が資料6にはないのはなぜか。 (事務局) 資料のスペースの問題で入れ込んでいない。しかし、他のページと調節して追加させていただく。 (会長) では、これまでにした意見等を入れ込み再度編集をしていただきたい。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 次回以降の会議の開催日程 ○事務局より、次回以降の会議の開催日程について説明。予定が決まり次第日程を調整していく。</p> <p>(2) その他 ○なし</p> <p>4 閉会</p>
--	--

<p>配 布 資 料</p>	<p>○子ども・子育て会議条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1 ○子ども・子育て会議委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2 ○武蔵村山市子ども・子育て支援事業検討委員会設置要綱・・・・・・・・・・資料3 ○武蔵村山市子ども・子育て支援事業検討委員会委員名簿・・・・・・・・・・資料4 ○) ニーズ調査概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5 ○就学前調査票(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料6 ○小学生調査票(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料7 ○就学前児童調査質問項目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料8 ○小学生調査質問項目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料9 ○子ども・子育て支援法の概要(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料10 ○武蔵村山市ニーズ調査スケジュール(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料11</p>
----------------	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公 開 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非 公 開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： 0 人</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 50px; margin-top: 10px;"></div>
--------------------	--

会議録の開示・非 開 示 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等 :) <input type="checkbox"/> 非 開 示(根拠法令等 :)
---------------------	--

庶 務 担 当 課	健康福祉部 子ども育成課 (内線 : 1 8 2)
-----------	----------------------------

(日本工業規格A列4番)